

市東部地域におけるデマンド型交通実証実験について

・市東部地域は、その多くが市街化調整区域のため人口の集積も低く、比較的高齢化が進んでいる地域となっている。

Nーバスは、運行開始から「市内交通空白地帯の解消」や「交通弱者の社会参加の促進」などを目的に運行してきたが、限られた車両台数の中では、この地域（Nーバス東部線、三ヶ峯線）に求められる運行ルート、運行本数を確保することが困難であり、自家用車での移動が中心となっている。今後も高齢化が進む中で、過度の自動車依存から公共交通の利用を考えた生活様式への行動変容が求められている。

令和6年3月策定の長久手市地域公共交通計画には、「地域特性に合った便利で持続可能な公共交通体系の確保」と定めており、市東部地域での「新たな移動手段導入の検討」として、令和6年度、7年度で「デマンド型交通」の実証実験を行い、「デマンド型交通」の有効性や求められる移動手段について検証する。

・地域公共交通計画の将来像「さまざまな移動手段が共生し、つながりのある公共交通」の実現には、地域住民の声、ニーズの把握が必要であり、広く意見を聴取する。

I 運行内容

(1) 運行形態

「AI オンデマンド配車方式」

「定点型停留所方式」

「乗り合い方式」

・実証実験期間中、Nーバスは通常の運行とする。

*デマンド型交通とNーバス（定時定路線型）を同時運行することで、この地域にどのような移動手段のニーズがあるか把握する。

(2) 実証実験期間

・令和6年10月1日から11月30日まで（期間中毎日運行）（予定）

(3) 運行対象地域

- ・ N-バス東部線、三ヶ峯線の区域（別紙参照）
- ・ 運行対象地域内に設定する乗降場所のみ乗降できる。
 - * タクシーとの差別化

(4) 乗降場所

- ・ 運行対象地域内に120～150箇所程度設定する。
- ・ 乗降場所には看板等を掲示する。
 - * 公共施設、公園、事業所、資源置き場などを想定。
 - * 地域への説明で場所等の相談を実施。
- ・ 既存の公共交通との「協調」「共生」の観点から、
 - 「市役所」「福祉の家」「長久手古戦場駅」間の相互移動はできないものとする。
 - 「長久手古戦場駅」「芸大通駅」「公園西駅」「愛・地球博記念公園駅」間の相互移動はできないものとする。

(5) 運行時間

- ・ 午前7時30分から午後6時30分まで
 - * 午後6時30分を超えた場合でも利用者が降車するまで運行する。

(6) 利用方法

- ・ 利用登録（事前登録）が必要とする。ワンタイムアカウントによる都度利用も検討する。

(7) 利用できる人

- ・ 中学生以上とする。
 - * 未成年者の登録は保護者の同意が必要とする。
 - * 市内在住、在勤、在学を問わず誰でも利用可とする。

(8) 予約方法

- ・ 電話またはWEB

(9) 運賃

- ・ 1エリア移動1人1乗車200円
- ・ 2エリア移動（エリアをまたぐ移動）1人1乗車400円。
- ・ エリア隣接部（公園西駅周辺）の乗降場所は、2エリア移動でも1エリア移動扱いとする。

*身体障害者手帳等の所持者と付添い1人まではそれぞれ半額。

*利用者とその家族等の同乗の場合は、それぞれ1人につき1乗車分支払う。

*小学生は半額。未就学児は無料。

(10) 予約受付時間

・乗車希望日の数日前から乗車希望時間の1時間前まで予約を受け付ける。

(11) 運賃支払い方法

・降車時に現金で支払う。

(12) 利用キャンセル

・利用者が予約時間に乗降場所にいない場合は、キャンセルしたものとする。

(13) 運行車両

・車両は借り上げ方法とし、午前2台(セダンタイプ1台、ジャンボタイプ1台)、午後1台(セダンタイプ1台)とする。

2 地域への説明

・第66回地域公共交通会議(6月11日)での説明後、地域への説明を始める。対象地域の岩作区協議会、前熊区、大草区会、北熊区及び地域内の自治会、シニアクラブ、民生委員、地域包括支援センター、高齢者対象の教室、サロン等、対象地域で関係の深い団体等に説明、利用を呼びかけ、乗降場所の意見を聴く。

3 運行事業者選定方法

(1) 選定方法

・配車システムを指定した指名型プロポーザル方式で運行事業者を選定(7月中旬ごろ)

(2) 予算

・市予算8,022千円、共同研究費1,000千円 合計9,022千円

4 事業の評価について

・「利用登録者」、「利用モニター」、「実証実験エリアの市民」にアンケートを実施、検証を行い、次年度の実証実験につなげる。